

木育 MOKUIKU かわら版

知ろう、使おう、広げよう、みやぎきの木

Vol.
3



木に触れて、
木と遊び、
木を学ぶ

Contents

Page1	第3回 木育ネットワーク部会 講演会
Page2	木育ネットワーク部会 勉強会 保育園との取り組み (宮崎市)
Page3	木育ネットワーク部会 勉強会 保育園との取り組み (延岡市)
Page4	高校生木育デザインプロジェクト 試作品発表

第3回 木育ネットワーク部会講演会

木育と木の持つチカラ

講師：埼玉大学 教育学部 教授 浅田 茂裕 先生
日時：平成29年2月19日(日) 10:00～12:00
場所：県庁7号館4階744会議室 参加者：32名



浅田 茂裕 (あさだ しげひろ)

埼玉大学教育学部 教授
NPO 法人 木づかい子育てネットワーク理事長
「木育」運動の総合委員会委員
木育アドバイザー・ボードメンバー
九州大学大学院農学研究科修了〔博士(農学)〕
東洋大学 WASS センター客員研究員
〈研究の概要〉
小中学生に対する木材教育の方法(木育)
学校教育に対する木材利用の効果、居住性、
快適性研究など木材利用に向けた消費者意識調査、
マーケティング研究

NPO 法人木づかい子育てネットワークを立ち上げ、ウッドファーストを日本で初めて取り入れた浅田先生に、木材が人に与える影響などを具体的な数値を示し教えていただきながら、「木育」とは何かを改めて考える講演会を開催しました。

木材の持つ人への効果

<温かみ>木材は熱伝導率が小さい(熱の伝わり方が遅い)ので触った時に温かく感じます。

<香り>多くの木の香りは自律神経を鎮静化する効果があります。一部、クスノキなど覚醒の効果がある木もあります。

<木目>等間隔のようにみえますが、節があったりズレがあります。この模様は人の目にとって気持ちを落ち着かせ、疲れをとるという働きがあるので、木の壁の部屋では鬱々とした気分が下がる傾向があり、真っ白の壁の部屋では鬱々とした気分や、怒りの感情が上昇し、活気が下がる傾向があります。

<手ざわり>木材を触った瞬間、血圧は少し上昇したのち触る前よりも血圧が下がりますが、金属の場合では、触った瞬間血圧が上昇し、その後も上昇したままになります。

他にも視覚的に温かさを感じたり、吸音効果など人にやさしい木の効果が認められています。

幼児期の子どもに対する多様な機能

シャーロット・ビューラー(1893-1974 ドイツの心理学者)による4つ機能的分類〔機能遊び・想像遊び・受容遊び・創造遊び〕の発達には、木製おもちゃ(木材)は多様な機能を発揮します。例えば枝や積み木、あいまいな形のもの、子どもの想像力をかきたて、いろんなストーリーが生まれる基になり、見立て遊びが多様になります。

木の学校の効果

木質化と非木質化の学校での調査によると、木質化された学校では、認知的能力〔集中力の増加、作業効率の向上など〕、心理・健康面〔ストレスの緩和、免疫活性の高まり、怪我防止など〕、情緒面〔愛着、物を大事にする心など〕、他、学校イメージの向上などがみられました。実際にドイツでは校内暴力の原因が鉄筋コンクリートの建物にあると考えられ木造につくりかえられています。

木は遊びをアフォードする

地面によって遊びが変化することが調査で認められています。例えば、芝生の場合では運動遊びやスポーツ遊びが行われるのに対し、林の中では昆虫採集になったりします。また、地面がコンクリートだと、遊具があっても落下した時の怪我の心配が大きく、保護者も子どもも安心して遊ぶことができませんが、地面にウッドチップを敷くと安心して遊べ人との関わりも増えることが認められました。安心できることで、動きも大きくなり適度な冒険と挑戦もできます。これは、子どもの発達に重要な役割を果たします。

木育がなくなったら

木や森に触れる機会が少なくなります
…木や森の心地よさの経験が減少し、都市(まち)の中、家庭の中に木製品を取り入れる人が少なくなります…
木や森についての経験、理解がなくなります
…森の働きや役割を理解する人が少なくなり、木の使い方が分からない大人が増えます…
木や森で遊ぶ子どもが減ります
…森との心理的距離が増加し、自然ばなれが進み、プラスチックの環境に慣れ、電子機器での遊びが増えます…
実は、木育がなくなっても今と変わらないのです。だからこそ、どんな未来を、暮らしを創るかという現状への問いかけ、少しずつでも変えることで明日が変わるという想いで、木と森の力を最大限活かした人の育ちを支援する活動を行うことが大事なのです。

- 参加者アンケートより ● <講演会で印象に残ったこと>
<一部抜粋・加筆>

- ・食育は人の命に直結しているが、木育は命との距離感があるのでなかなか根付かない。だが、未来のためには必要なものであるということ。
- ・木質化することで、子ども達に与える影響が大きいこと。
- ・木育がなくなっても今と変わらない世界というのは、人間形成、環境の面から考えて怖いと感じました。
- ・木が子どもの遊び(集中力や想像力)を育てること。
- ・森を守ることは、木を使うこと。それが経済発展になり持続的な森をつくる、ということ。

木育ネットワーク部会 勉強会

保育園との取組



めぐみ保育園 [宮崎市]

1. 勉強会開催

[宮崎国際大学 守川先生、山下先生の講演会]
日時：平成28年8月18日(木) 13:00～15:00

2. 園長先生と意見交換会

[勉強会の感想と今後の進め方について]
日時：平成28年10月6日(木) 13:00～15:00

3. 保育士との意見交換会の実施

日時：平成28年12月20日(火) 13:30～14:45

主な意見

- ・勉強会は楽しかった
 - ・木のおもちゃがもっと沢山あるといいし、作ってみたいおもちゃも沢山ある!
 - ・自分たちでも木のおもちゃを作りたい!
- ※その場でデザインワークショップを実施し、デザイン画は後日回収しました。



4. 木育ネットワーク部会メンバーにデザインをシェアし、進め方を相談

- ▷指導する側で、保育士のデザイン画を基にサポート体制を整理し試作等も行った
- ▷機材設備のある場所で、木のおもちゃづくりワークショップを計画

5. 木のおもちゃづくりワークショップ開催

日時：平成29年1月28日(土) 13:00～17:00
場所：ボーイスカウト宮崎連盟野外訓練センター
講師：宮崎大学教育学部教授 藤元 嘉安先生
宮崎国際大学教育学部児童教育学科准教授 守川 美輪先生
補助員：木育サポーター、宮崎大学 学生
参加者：16名(事務局含む)

機材設備が整っている、ボーイスカウト宮崎連盟野外訓練センターで講師と補助員のサポートのもと、デザイン画をもとにおもちゃを製作。機械や道具の使い方から指導していただき、4時間かけて完成させました!



製作おもちゃのご紹介

▶ 「ハンマートイ」

保育士デザイン画



守川先生試作品

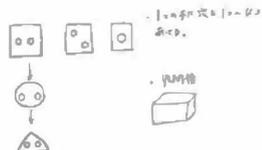


→完成



▶ 「ひも通し」

保育士デザイン画



→完成



▶ 「まわるおもちゃ」

保育士デザイン画



守川先生試作品



→完成



▶ 「みやぎき犬パズル」

保育士デザイン画



→完成



[おもちゃづくり感想]

- ・さまざまな木材や機械などを使い、おもちゃができた時は、とても嬉しく感じた。作ることの楽しさを子ども達にも体験させてあげたいと思った。
- ・完成品を園に持ち帰った時に、参加されていない先生方がビックリされ「私も作ってみたい!」と言われた。
- ・機械の使い方やノギリの使い方など教えていただき、集中して作ることができた。
- ・こんなおもちゃを作りたい!という思いつきから、きちんと形になるのか不安でしたが、アドバイスのおかげで楽しく製作できました。



高校生木育デザインプロジェクト

④試作品発表会

日時：平成 29 年 3 月 5 日(日) 10:00 ~ 14:10

場所：日南市油津 Yotten 参加者：生徒 26 名

前回のデザイン(案)をもとに制作された試作品を3校26名の生徒がグループごとにプレゼンテーションを行い、デザイナーら審査員8名が安全性やデザインを評価しました。見事上位に選ばれた作品は宮崎工業と都城西の共同制作の“Sound House”、と前回の試作品にはなかったが、作りたいという想いで作られた“カルタ”が選ばれました。

▼出来上がった試作品



▼プレゼンテーションの様子



①日向学院<デンジャラス・シップ>
・こだわりは皿の内側のデザイン!
・自立させるバランスの調整ができなかった

②都城西(あぶネコ)
・第一次の試作品から改良を重ねていく過程が面白かった
・小山さんから頂いたヒントを活かして改良版を作成し軽量化も工夫

③都城西<デンジャラス・シップ>
・木でなく紙粘土で試作品制作
・デザインやボリュームにこだわり
・紙粘土を大量に使用したため予算をオーバー・・・

④都城西<カルタ>
・設備が整っていないでも作れるものを・・・!カルタ制作までの物語
・1枚1枚手描きの完成品ともいえる試作品

⑤都城西<SoundHouse 収納部分>
・デザイン重視、屋根は木に見えるよう材料の工夫
・宮崎工業との協働製作

⑥宮崎工業<SoundHouse 楽器部分>
・ガラガラの出来は満足!
・木琴は樹種違いとこだわったが、音が出ない・・・

⑦宮崎工業(デンジャラス・シップ)
・制作の過程で何が大変だった人間関係が大変。先輩後輩の関係崩壊。時間もなくなり紙皿で試作品制作

⑧宮崎工業<あぶネコ>
・試作中、作品がまるでエビフライに・・・
・木を使用した場合、そうでない場合での精度の違い

● アンケートより ● <一部抜粋・加筆>

・メーカーさんの後継者不足など肌で感じている。少しでもモノづくりに携わる子どもたちが増えると良い。(デザイナー)・この取組みに感銘を受けた。生徒、教師、公務員、企業人などそれぞれの立場で社会との接点に思いをいたす機会になったと思う。(一般参加者)・高校生と大人の関わり、ぶつかり合いはお互いにとって刺激になる。子どもたちから学ぶことが多かった。(デザイナー)

<高校生の感想・一部抜粋>

・デザインは1人で考えるものでなく、みんなの意見で成り立つものだ。・見た目だけでなく使う人のことを考え、様々なことを考慮することが大切。・普段使っている物が良く考えられて作られていることを知った。物を使う時は携わった方のことを思い大切にしたい。・木について学べた。・貴重な体験ができた。・もっと意見交換したかった。・発想力、創造力を鍛える良い活動だった。



選ばれた作品は、日南市の崎田市長へ贈呈されました。2017年4月8日OPEN予定の日南市子育て支援センターのおもちゃとして設置される予定です!どうぞ、お楽しみに☆

お問い合わせ

みやぎき木づくり県民会議 木育ネットワーク部会 事務局
宮崎県森林林業協会・宮崎県山村・木材振興課みやぎきスギ活用推進室
〒880-0802 宮崎市別府町3番1号 宮崎日赤会館2F TEL:0985(27)7682 / FAX:0985(25)2398

つくしんぼ保育園・ととろ保育園 [延岡市]

1. 勉強会開催

[宮崎国際大学 守川先生、山下先生の講演会]

日 時：平成 28 年 9 月 8 日 (木) 18:30 ~ 20:30

2. 園長先生と意見交換会

[勉強会の感想と今後の進め方について]

日 時：平成 28 年 10 月 7 日 (金) 14:00 ~ 15:30

3. 保育士との意見交換会の実施

[デザインワークショップも併せて実施]

日 時：平成 28 年 12 月 19 日 (月) 13:00 ~ 14:30

主な意見

- ・勉強会は楽しかった
- ・木のおもちゃに興味を持った
- ・自分たちでも木のおもちゃを作りたい
- ・でも木材について良く知らないし、どこに行けば材料が手に入るかわからない

※近くの製材所巡りを実施することを事務局から提案

4. 近くに立地する製材所などをピックアップし視察調整

5. 製材所を巡ってモッタイナイを探すツアーを実施

日 時：平成 29 年 1 月 17 日 (火) 13:00 ~ 15:30

場 所：(有) 一山木材、(有) マルウッド

参加者：保育士 14 名



一山木材では、ヒノキ原木から集成材や製材を加工しています。材料になる木材や加工機械、接着機械など工場の様子を説明していただき、最後に加工時にでる端材をいただきました。



マルウッドでは、スギ原木丸棒加工し、杭や柵を製造しています。材料になる木材や丸棒加工機など工場の様子を説明していただき、最後に杭を加工する際にでる端材をいただきました。



6. モッタイナイ素材を利用した試作品の発表会

日 時：平成 29 年 3 月 2 日 (木) 13:00 ~ 14:30

場 所：つくしんぼ保育園

参加者：保育士 12 名

(有) 一山木材 橋口社長、(有) マルウッド 田丸社長

(有) いなだ木工 稲田社長

試作発表会

▶ 「園児の写真を切りとって飾ったフォトフレーム」



▶ 「花瓶？」



▶ 「クラスの表示板」



▶ 「ひな人形」



▶ 「ポーリング、虫」



▶ 「神経衰弱ゲーム」



▶ 「ハンマートイ」



[保育士の感想]

- ・製作はそんなに難しくなかったが、色塗りに時間がかかった。
- ・製作するのに道具が必要なことから知り合いのところへ数日間通って製作した。難しくなく楽しかった。
- ・木工ボンドでくっつけるだけだったので、難しく感じなかった。

[木を扱っている方々のアドバイス及び感想]

- ・木を塗装する際には、一度、白地の下塗りを行い、乾燥させた後、サンドペーパーで軽く削った上で、色付け塗装を実施するときれいに仕上がる。
- ・芯持ち材は乾燥すると割れるモノ。水分量の多い中心部をくり抜いて利用すると割れにくくなる。
- ・自社の端材がこんなにたくさんおもちゃとして利用してもらい嬉しい。
- ・神経衰弱は商品化したいくらい。
- ・自分たちで発想できないものばかりで驚いた。

